Unit 3

Dialog 概要

pp.18-19

* 太陽を見つめているヒロフミにアカネが話しかける。アカネは望遠鏡を持っており，天体写真の撮影を楽しんでいる。
* アカネは先週末10時頃に撮った太陽の写真をヒロフミに見せた。
* ヒロフミは写真をほめ，太陽が白いことから白黒写真だと思い，カラー写真を見せてほしいと言うが，アカネはそれがカラー写真であることを明かし，頭上にある時（日中）の太陽は白いのだと告げる。
* ヒロフミは太陽が昇る時や沈む時は白ではなく，色鮮やかである理由をアカネに尋ねると，アカネは太陽が地平線上にある時は大気中のちりや他の物質のせいでオレンジや赤や黄色に見えると説明する。
* ヒロフミは太陽の写真を撮ることが危険ではないのかと聞くが，アカネは適切な予防策としてハーシェル・プリズムという装置を望遠鏡につければ安全になることを天体関係のウェブサイト掲示板の投稿で知ったと言う。特殊なフィルターがほとんどの光をカットし見やすくなるというのだ。
* ヒロフミはフィルターが明るさを適切に調節していることで写真の背景が暗くなっていることを理解した。
* さらにヒロフミは太陽の黒点が写真に写っていることに気づく。アカネはそれが磁気活動により生じると言い，実は黒点は満月より明るいが，周囲の部分よりも温度が低いために黒く見えるのだと説明する。
* 最後にアカネはＮＡＳＡ（米航空宇宙局）のウェブサイトで毎日太陽の写真が更新されていることをヒロフミに教える。

Part 1概要

* アカネはヒロフミにある写真を見せる。ヒロフミは白黒写真だと思ったが，実は太陽のカラー写真であり，太陽は白かった。
* 太陽の黒点が写真ではっきりしているのは周囲の部分よりも温度がやや低いためであった。

Part 2概要

* アカネはヒロフミにある写真を見せる。ヒロフミは白黒写真だと思ったが，実は太陽のカラー写真であり，太陽は白かった。
* 直接見るのは目に傷めるので危険だが，頭上にある時（日中）の太陽は白いのである。
* アカネはフィルターを搭載したハーシェル・プリズムという装置を使って簡単に安全に写真を撮っていた。
* 写真には黒点がはっきりと映っていたが，磁気活動により起こったもので，周囲の部分よりも温度が低いためにそう見えるということであった。

Part 3概要

* ヒロフミが見せられた写真は太陽のカラー写真であった。
* 直接見るのは目に傷めるので危険だが，頭上にある時（日中）の太陽は白いのである。
* 太陽は地平線上にある時は大気中のちりや他の物質のせいでオレンジや赤や黄色に見えるということだ。
* アカネはフィルターを搭載したハーシェル・プリズムという装置を使って簡単に安全に写真を撮っていた。
* 写真には黒点がはっきりと映っていたが，磁気活動により起こったもので，周囲の部分よりも温度が低いためにそう見えるということだが，実際には黒点は満月より明るく周囲の部分よりもはるかに明るいのであった。